



# 教育システム情報学会 (JSiSE) 2012 年度 第 6 回研究会 プログラム

- 【主 催】 教育システム情報学会  
担当：松永公廣，西野和典，西端律子，鷹岡亮
- 【テーマ】 教育の情報化と情報教育/一般
- 【日 時】 2013 年 3 月 16 日 (土)
- 【会 場】 山口大学吉田キャンパス 教育学部 B 棟 2 階 22, 23, 24 番教室  
(〒753-8513 山口市吉田 1677-1)

■□■□プログラム■□■□ 1 件 22 分(発表 15 分, 質疑 6 分, 交代 1 分)

◇開 場 9:00

◇開会の挨拶 9:30-9:40 (A 会場のみで実施)

=====

**[A 会場, 教育学部 B 棟 22 番教室]**

◇開会の挨拶 9:30-9:40

◇セッション A-1 カリキュラム・授業支援 9:40-11:08

1) 9:40-10:02

ICT 活用による情報系科目における授業内容の共有化

○林康弘, 深町 賢一, 小松川 浩(千歳科学技術大学)

2) 10:02-10:24

授業理解度の向上を図った Web ベース授業支援システムの開発

○川邊良輔, 中西通雄(大阪工業大学)

3) 10:24-10:46

授業中のコミュニケーションを支援するシステムの提案

○橋川竜起(京都情報大学院大学)

4) 10:46-11:08

卒業後のキャリアを意識した大学カリキュラムの履修指導支援システム—教員の暗黙的な知識の活用—

○吉根勝美(南山大学), 磯本征雄(名古屋女子大学), 長谷川信(岐阜聖徳学園大学短期大学部)

◇休憩 11:08-11:20

◇セッション A-2 情報教育 11:20-12:48

5) 11:20-11:42

日本語プログラミングでセンサーを利用する情報教育のための教材開発

○山田耕太郎(比治山大学)

6) 11:42-12:04

コンピュータリテラシー教育における動画教材の活用

○矢島彰, 多田憲孝, 石川高行, 安達康生, 山尾正之(大阪国際大学)

7) 12:04-12:26

テキストマイニングを活用した情報モラルのカリキュラム改善の検討

○阿濱志保里, 葛崎偉(山口大学)

8) 12:26-12:48

大学入学時における情報倫理関連知識の理解状況について

○丹羽量久(長崎大学), 工藤英男(大阪成蹊大学), 藤井美知子(長崎大学)

◇休憩 12:48-13:50

#### ◇セッション A-3 e-learning 13:50-15:18

- 9) 13:50-14:12  
LMS の機能拡張による教育方法の変化  
○石川貴彦(名寄市立大学)
- 10) 14:12-14:34  
Moodle2 の画像や音声を含むテスト問題の一括作成ツールの開発とその応用  
○木原寛, 畑篤, 牧野久美, 上木佐季子(富山大学)
- 11) 14:34-14:56  
大学教育における英文ライティング分析のための LMS データ抽出ツールの試作  
○小島篤博, 内田充美(大阪府立大学) 山内真理(千葉商科大学)
- 12) 14:56-15:18  
SCORM 教材として利用可能な Web 読解支援システムの試作  
○溝渕昭二(近畿大学), 安藤一秋(香川大学)

#### ◇休憩 15:18-15:30

#### ◇セッション A-4 タブレット端末利用 15:30-16:36

- 13) 15:30-15:52  
タブレットメディアを用いたフィールドトリップ型体験学習支援  
○金子拓司, 柏原昭博(電気通信大学), 鷹岡亮(山口大学)
- 14) 15:52-16:14  
タブレット端末を用いた小学校安全マップ活動支援システムの開発とその活動報告  
○三石和輝, 金子亜佑香, 立花光平, 吉本定伸, 小坂敏文(東京工業高等専門学校)
- 15) 16:14-16:36  
タブレット PC を活用した幼児向けデジタル教材 – 幼児の反応に基づく教材分析 –  
○岸本暢斗, 飯沼瑞穂(東京工科大学)

=====

#### [B 会場, 教育学部 B 棟 23 番教室]

#### ◇セッション B-1 学習支援(1) 9:40-11:08

- 16) 9:40-10:02  
SPI2 を題材とする数学問題演習システムの実用性に関する検討  
○津森伸一(近畿大学九州短期大学), 山本真規子, 西野和典(九州工業大学)
- 17) 10:02-10:24  
数学問題における視線移動軽減のための解導出支援インタフェースの構築  
○中村健人, 小尻智子(関西大学), 林佑樹(成蹊大学)
- 18) 10:24-10:46  
算数文章題の統合過程のモデル化とシステムによる外化支援の実現  
○尾土井健太郎, 山元翔, 平嶋宗(広島大学)
- 19) 10:46-11:08  
乗算文章題を対象とした作問学習支援システムの比の 3 用法に基づく設計・開発  
○橋本拓也, 山元翔, 神戸健寛, 吉田祐太(広島大学),  
前田一誠(広島大学附属小学校), 平嶋宗(広島大学)

#### ◇休憩 11:08-11:20

#### ◇セッション B-2 学習支援(2) 11:20-12:48

- 20) 11:20-11:42  
学習者による学習シナリオ作成支援と学習スキルの向上  
○大石千恵, 柏原昭博(電気通信大学)
- 21) 11:42-12:04  
問題解決過程における学習者の思考の流れを取得するエージェントの振る舞い記述手法の開発  
○福田康平, 森本康彦(東京学芸大学), 中村勝一(福島大学)

- 22) 12:04-12:26  
講義の構造理解の促進のためのノートビルディング法の提案および支援システムの開発・評価  
○東本崇仁(東京理科大学), 平嶋宗, 越智泰樹(広島大学)
- 23) 12:26-12:48  
探索意図の洗練過程を重視した情報探索支援手法  
○山崎辰也, 大沼亮, 神長裕明, 宮寺庸造(東京学芸大学), 中村勝一(福島大学)

◇休憩 12:48-13:50

◇セッション B-3 学習支援(3) 13:50-15:18

- 24) 13:50-14:12  
スライド間関係の可視化に基づく発言生成支援システム  
○岩下直矢, 小尻智子(関西大学)
- 25) 14:12-14:34  
修正案の構造化に基づいたスライド作成スキルの議論ナビゲーション  
○那須勇人, 小尻智子(関西大学), 林佑樹(成蹊大学)
- 26) 14:34-14:56  
拡張現実感技術を用いたスキル学習支援システム  
○住本智宏, 岡本勝, 松原行宏(広島市立大学大学院)
- 27) 14:56-15:18  
AR を用いた等身大モデルによる姿勢模倣学習支援環境の開発  
○川越喬純(和歌山大学大学院), 曾我真人, 瀧寛和(和歌山大学)

◇休憩 15:18-15:30

◇セッション B-4 学習支援(4) 15:30-16:36

- 28) 15:30-15:52  
CG を用いた個人適応型学習システムの開発  
崎山卓哉(株式会社 JMC), 好地徹彰, 藤澤佳大(東京情報大学), 小山広明(株式会社 DTS),  
○松下孝太郎, マッキンケネスジェームス, 布広永示(東京情報大学)
- 29) 15:52-16:14  
英語教育における課題遂行型の間接学習支援システム  
○大平茂輝, 長尾確, 後藤明史, 外池俊幸(名古屋大学)
- 30) 16:14-16:36  
大学生活動の類似性・循環性に着目した学習支援型 SNS の提案  
○徳野淳子(福井県立大学)

=====

[C 会場, 教育学部 B 棟 24 番教室]

◇セッション C-1 教育方法・教育実践(1) 9:40-11:08

- 31) 9:40-10:02  
演習型講義における音声認識ソフト活用の試み  
○皆川雅章(札幌学院大学)
- 32) 10:02-10:24  
情報工学科学生に対するアルゴリズム的思考法教育の実践と評価(第 2 報)  
○國宗永佳, 香山瑞恵, 新村正明(信州大学)
- 33) 10:24-10:46  
ロジックツリーを利用した初級プログラミング教育の検討  
○山本樹(尚美学園大学), 國宗永佳(信州大学)
- 34) 10:46-11:08  
プログラミング自習環境の利用事例に基づく問題分析と継続的改善のための考察  
○伊藤恵, 佐藤智紀, 椿本弥生, 奥野拓, 大場みち子(公立はこだて未来大学)

◇休憩 11:08-11:20

◇セッションC-2 教育方法・教育実践(2) 11:20-12:48

35) 11:20-11:42

組織における問題解決を主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業実践

○仲林清(千葉工業大学)

36) 11:42-12:04

大学教養講義「微分積分学」における e-Learning の組み込みによる融合型授業の実践紹介

○亀田真澄(山口東京理科大学), 宇田川暢(山口県立大学)

37) 12:04-12:26

携帯端末を用いた授業支援システムの開発と運用

○木原均, 坂倉忠和, 宮田一郎(金沢工業高等専門学校)

38) 12:26-12:48

電気回路の授業における学習支援システムの積極的活用に関する一検討

○真田博文, 竹沢恵, 松崎博季, 三田村保(北海道工業大学)

◇休憩 12:48-13:50

◇セッションC-3 システム・教材開発 13:50-15:18

39) 13:50-14:12

計測制御教育のための教材ロボットの開発

○野口孝文, 梶原秀一, 千田和範, 稲守栄(釧路工業高等専門学校)

40) 14:12-14:34

トラブル予測を組み込んだ実習用モバイル船内点検システム

○岡本忠洋, 山口真之介, 大西淑雅(九州工業大学), 津森伸一(近畿大学九州短期大学), 若菜啓孝, 西野和典(九州工業大学)

41) 14:34-14:56

ビデオ学習教材へのソーシャルアノテーションによる疑似集団学習システムの提案

協達也, ○安瀬美知子, 水山元(青山学院大学)

42) 14:56-15:18

食事療法のための日常生活の献立パターンを取り入れた献立作成支援システムの開発

平田なつひ, ○中村正治(金城学院大F学)

◇休憩 15:18-15:30

◇セッションC-4 認知・分析 15:30-16:36

43) 15:30-15:52

視線一致型テレビ会議システムを用いた三大学での交流学习における

2地点, 3地点間の双方向性の比較, 検討

○和田真澄, 数馬大蔵, 小島互一朗, George Moroni, Teixeira Batista, 谷田貝雅典, 永岡慶三(早稲田大学)

44) 15:52-16:14

書く過程を提示された学習者のアイトラッカーを用いた視線分析

○岡崎泰久, 野口千樹, 田中久治(佐賀大学), 渡辺健次(広島大学), 吉川厚(東京工業大学)

45) 16:14-16:36

マインドストーム組み立てにおける空間認識能力を補う手法の提案

○岡松実加, 川本佳代(広島市立大学)

=====

◇閉会の挨拶 16:40-16:50 (A会場のみで実施)

◇懇親会 17:15-19:15 (湯田温泉方面の最終バスは 19:30)

# 教育システム情報学会 (JSiSE) 2012 年度 特集論文研究会プログラム

## 【担 当】

小西 達裕 (研究会委員会/学会誌編集委員会)

真嶋由貴恵 (学会誌編集委員会: 論文特集「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」担当幹事)

合田 美子 (学会誌編集委員会: 論文特集「ICT を活用した教育の質保証」担当幹事)

林 雄介 (学会誌編集委員会)

【テーマ】 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育 および, ICT を活用した教育の質保証

【日 時】 2013 年 3 月 16 日 (土)

【会 場】 山口大学吉田キャンパス 教育学部

(〒753-8513 山口市吉田 1677-1)

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/page.php/index/page/id/13>

## ■□■□プログラム■□■□

### ※セッション名に

「A」が付いているものはテーマ「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」のセッション

「B」が付いているものはテーマ「ICT を活用した教育の質保証」のセッション

※●はコメント希望の発表 (45 分: 発表 20 分, 質疑応答 20 分) の発表者

○はその他の発表 (25 分: 発表 20 分, 質疑 5 分) の発表者

◇開 場 9:00

◇開会の挨拶 9:30-9:40

### ◇セッション D-1 (9:40-11:00) A) 健康促進支援(1)

1) ランナーの動きに基づき仮想協走者を提供するウェアラブルシステム

●後藤田 中 (国立スポーツ科学センター), 松浦 健二・田中俊夫 (徳島大学)

2) ICT 健康介入に対応した Transtheoretical model 尺度の開発とその評価

●芳賀瑛・永岡慶三 (早稲田大学)

### ◇セッション E-1 (9:40-11:00) A) 救急研修

3) ワークプレイスラーニングを基にした救急看護研修モデルの提案

●増山純二 (日本赤十字九州国際看護大学)

4) 業務支援を考慮した Job Aids 組み込み型研修

～医療機器スキルアップコース「人工呼吸器コース」の設計・開発～

●山田紀昭 (済生会横浜市東部病院), 合田美子・鈴木克明・北村士朗 (熊本大学)

### ◇セッション F-1 (9:40-11:00) B) ビジネスゲーム利用

5) ビジネスゲームを利用した学習者の理解度に応じた適応型の授業設計と実践評価

●立野貴之・横田一正 (岡山県立大学)

6) ビジネスゲーム開発教育による財務的知識の学習支援

●田窪美葉 (大阪国際大学)

#### ◇セッション G-1 (9:40-11:00) B) インストラクショナルデザイン・教材設計

- 7) インストラクショナルデザインを指向した教員用 LMS UI の設計  
●井ノ上憲司・鈴木克明 (熊本大学)
- 8) 第二外国語としての中国語ブレンディッドラーニングのための eラーニング教材設計指針の提案  
●趙秀敏 (東北大学), 富田昇 (東北学院大学), 今野文子・朱嘉琪 (東北大学), 稲垣忠 (東北学院大学), 大河雄一・三石大 (東北大学)

#### ◇休憩 11:00-11:10

#### ◇セッション D-2 (11:10-12:30) A) 健康促進支援(2)

- 9) コミュニティ内での身体スキル訓練方法に関する一考察  
●松浦健二・森口博基・金西計英・乾 博文(徳島大学), 後藤田 中(国立スポーツ科学センター)
- 10) 3D コンテンツを用いた高齢者向け健康サポートシステムの評価  
○グ ミンヨン・楠 房子 (多摩美術大学), 稲垣 成哲・岡田 修一 (神戸大学)

#### ◇セッション E-2 (11:10-12:30) A) 医療系教育情報システム

- 11) 医療系大学院における全国規模の大学間連携 eラーニング・システムの構築  
●内藤隆宏・讃岐勝・岡田昌史 (筑波大学)
- 12) 医療系大学における学内無線 LAN 環境と今後のモバイル端末を活用した授業形態について  
●上西秀和・坂田信裕・山下真幸 (獨協医科大学)

#### ◇セッション F-2 (11:10-12:30) B) eラーニングシステム開発

- 13) リーディング学習促進を目的とした Web アプリケーション REX の構築  
●大城敬人・宮崎佳典 (静岡大学)
- 14) 日本語独習ナビゲーションシステム“Injapa!”の開発  
- 学習者の関心・習得度により最適化した教材提供の実現を目指して -  
甲斐 晶子・●根本淳子・松葉 龍一・鈴木 克明 (熊本大学)

#### ◇セッション G-2 (11:10-12:30) B) 教育評価

- 15) eラーニングを導入した全学情報教育における教育実践と質保証  
●小島篤博・真嶋由貴恵・宮本貴朗・青木茂樹 (大阪府立大学)
- 16) 高等教育における教育実践の評価者としての FDer の役割  
●加藤由香里 (東京農工大学)

#### ◇昼休み 12:30-13:15

#### ◇セッション D-3 (13:15-15:00) A) 特別支援教育

- 17) 発達障がい／聴覚障がい児童向け基礎算術学習用 AEHS の構築  
●池守 樹・松永 信介・稲葉 竹俊 (東京工科大学)
- 18) 知的障害児のための教育支援システムの開発  
●田口浩太郎・小田まり子 (久留米工業大学), 小田誠雄 (福岡工業大学), 河野 央 (久留米工業大学), 新井康平 (佐賀大学)
- 19) 特別支援学校における、カスタマイズ可能なデジタルコンテンツ制作と共有  
○西端律子 (畿央大学)、高橋浩 (奈良県立奈良養護学校), 福森貢・古川恵美・福本貴彦・乾富士男・宮村裕子 (畿央大学)

◇セッション E-3 (13:15-15:00) A) 看護技術学習支援 (1)

- 20) 講義・演習をつなぐ e-ラーニングによる自己学習の工夫  
●徳永基与子・平野加代子 (京都光華女子大学)
- 21) e-ラーニング教材の作成ー看護技術習得を目指した映像撮影の工夫ー  
●平野加代子・徳永基与子 (京都光華女子大学)
- 22) 看護技術学習科目におけるブレンディッド型授業の運営とその評価  
○三宮有里・村中陽子・熊谷たまき・服部恵子・寺岡三左子・鈴木小百合 (順天堂大学)

◇セッション F-3 (13:15-15:00) A) 医学教育支援

- 23) 臨床科目への e-ラーニングの導入と成績への影響要因の検討  
●油川 ひとみ・R. ブルーヘルマンズ・泉 美貴 (東京医科大学)
- 24) ICT を活用した客観的臨床能力試験 (OSCE) 対策としての事前学習環境の提示とその評価  
○浅田義和・鈴木義彦・長谷川剛・河野龍太郎 (自治医科大学)
- 25) Moodle を活用した医学生向け小テストの実践  
○和泉貴志・R. ブルーヘルマンズ・泉美貴・油川ひとみ (東京医科大学)

◇セッション G-3 (13:15-15:00) B) e-ラーニングシステム運用

- 26) 理工系大学における LMS 利活用の支援に関する検討  
●江木啓訓・辻澤隆彦 (東京農工大学)
- 27) クラウドサービスを利用した e-ラーニング教材の開発と学習支援の実践  
○佐藤 豊・山本 孝司・安藤 昭 (サレジオ工業高等専門学校)

◇休憩 15:00-15:10

◇セッション D-4 (15:10-17:10) A) 保育・福祉学習支援

- 28) 子育てバーチャル体験教材開発とインストラクション評価-新生児期の教材作成と評価-  
●太田浩子・寺本正恵・王麗華・木内妙子・松永信介・稲葉竹俊 (東京工科大学)
- 29) 仮想空間を用いた保育における「見守り」学習支援システムの提案と評価  
吉崎 智則 (同志社大学), 白井 由希子 (常磐会短期大学),  
永田 健 (同志社大学), ●新谷 公朗 (常磐会短期大学), 金田 重郎 (同志社大学)
- 30) ゲーミフィケーションを活用した晴眼者向け点字学習支援システムの開発と評価  
●元木章博・松尾由梨乃 (鶴見大学)

◇セッション E-4 (15:10-17:10) A) 看護技術学習支援 (2)

- 31) フィジカルアセスメント実践能力育成のためのポッドキャスト教材  
●末次典恵 (佐賀大学)、大喜雅文 (九州大学)
- 32) 暗黙的看護スキル学習支援を目的とした視線動向の定量化  
-静脈内注射技術における熟練看護師と看護学生の比較-  
●前川泰子・真嶋由貴恵 (大阪府立大学), 曾我真人 (和歌山大学), 山田智文 (濃飛西濃運輸株式会社)
- 33) 新人看護師研修における e-ラーニングの活用状況と看護技術修得の関係  
●伊津美孝子 (森ノ宮医療大学/大阪府立大学), 真嶋由貴恵 (大阪府立大学),  
寫田聡 (NTT Service Evolution Laboratories)

◇セッション F-4 (15:10-17:10) A) 看護過程・保健指導等における学習支援

34) ICT 活用における看護過程での自己学習支援の効果

●辻 慶子 (北海道文教大学), 小松川 浩 (千歳科学技術大学)

35) 自動作図機能を実装した関連図作成支援ツールの開発と実践

●石井成郎 (愛知きわみ看護短期大学), 鈴木裕利 (中部大学),  
佐久間佐織 (愛知きわみ看護短期大学)

36) 保健指導実技と学習者間評価活動の改善

●根本淳子・井ノ上憲司・上田公代 (熊本大学)

◇セッション G-4 (15:10-17:10) B) 学習分析・評価

37) アクセスログを対象とした特徴抽出支援システムの開発

●新村正明・長谷川理・國宗永佳 (信州大学)

38) 時系列モニタリングシステム：初等中等教育における学習定着状況の分析システム

●外山理沙子・森薫・木幡敬史・玉村雅敏・金子郁容 (慶應義塾大学)

39) e ポートフォリオを用いた学修自己評価の分析

●福丸浩史・林 朗弘・宮浦 崇・西野和典 (九州工業大学)

◇懇 親 会 17:15-19:15 (湯田温泉方面の最終バスは 19:30)

\*\*\*\*\*  
2012 年度 JSiSE 第 6 回および特集論文研究会 交通・宿泊・懇親会のご案内  
\*\*\*\*\*

- ・3/17(日)に第 41 回全日本実業団ハーフマラソン大会が湯田温泉で開催されます。選手や役員の方々は少し前から山口入りされると思われますので、3/15, 3/16 に湯田温泉へお泊りの予定の場合には、宿泊予約はお早めにお問い合わせ致します。

[交通アクセスについて]

- ・JR 最寄駅は「湯田温泉駅」です。山口駅や新山口駅ではありません。
- ・JR 湯田温泉駅から山口大学までは、徒歩 25 分、タクシー10 分です。  
タクシー利用の場合、「教育学部玄関前」にお願いして下さい。
- ・山口宇部空港・山口大学間ご利用の場合は、乗合タクシー「空港エクスプレス (片道 2,300 円, 要予約)」が便利です。
- ・山口宇部空港・湯田温泉間は、空港バス(片道 1,400 円, 予約なし)が便利です。
- ・詳細は、下記アクセスや時刻表をご覧ください。
  - + 山口大学吉田キャンパスへのアクセス  
<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/page.php/index/page/id/616>
  - + 山口宇部空港バス時刻表(山口宇部空港-新山口駅[乗降注意]-湯田温泉)  
[http://www.chugoku-jrbus.co.jp/pdf/20130107yamaguchi\\_ubeairport.pdf](http://www.chugoku-jrbus.co.jp/pdf/20130107yamaguchi_ubeairport.pdf)
  - + 空港エクスプレス(乗合タクシー, 大隅タクシー)  
[http://taxi.osumi-group.jp/001\\_express.html](http://taxi.osumi-group.jp/001_express.html)

- + 防長バス時刻表(新山口駅→山口大学前) <便数が非常に少ないです>  
[http://www.bochobus.co.jp/jikoku/2012\\_10\\_01/sa/si11-13c.pdf](http://www.bochobus.co.jp/jikoku/2012_10_01/sa/si11-13c.pdf)
- + 防長バス時刻表(山口大学前→新山口駅) <便数が非常に少ないです>  
[http://www.bochobus.co.jp/jikoku/2012\\_10\\_01/ya/ya3-20c.pdf](http://www.bochobus.co.jp/jikoku/2012_10_01/ya/ya3-20c.pdf)
- + JRバス防長線時刻表(山口大学-湯田温泉)  
<http://www.chugoku-jrbus.co.jp/pdf/20120317boucyou2.pdf>

## [宿泊について]

- ・山口大学から最寄りの宿泊場所は「湯田温泉」になります。  
 湯田温泉から山口大学までは、バス約7分(教育学部玄関まではプラス徒歩5分)です。
- ・湯田温泉には、旅館だけではなく、温泉付きのビジネスホテルもあります。
- ・前泊される場合、湯田温泉がおすすめです。
- ・後泊される場合、翌日 JR 新山口駅から朝早く出発されるのであれば、JR 新山口駅近辺のビジネスホテルがよろしいかと思えます。
- ・山口宇部空港利用の場合には、湯田温泉から空港バスが利用できますので、湯田温泉がおすすめです。
- ・詳細は、下記 Web(お宿案内等)をご覧ください。
  - + 湯田温泉旅館協同組合  
<http://www.yudaonsen.com/>
- ・当日、受付にて、山口観光コンベンションとの関係で、宿泊ホテル・旅館名と宿泊日のアンケート調査を実施させて頂く予定です。回答は任意でございますが、当日のご協力をお願いできれば幸いです。よろしくお願い致します。

## [懇親会について]

- ・第6回研究会と特集論文研究会で合同の懇親会を企画しています。  
 他の参加者の方々と交流を深める良い機会と思えますので、多くの方のご参加をお待ちしております。
- + 会 場：山口大学吉田キャンパス 第1学生食堂「ポーノ」
- + 時 間：17:15-19:15
- + 参加費：4,000円/人
- ・懇親会に参加ご希望の方は、3/11(月)までに、
  - 件名：JSiSE 研究会懇親会参加
  - 本文：ご所属とお名前
 を明記の上、山口大学 鷹岡(ryo@yamaguchi-u.ac.jp)宛にメールにてお申込み下さい。  
 折り返し、こちらから返信致します。
- ・懇親会終了後、19:30 に山口大学から湯田温泉方面(防府駅行)の路線バス最終(JR 中国)が運行しています。

# 論文特集 Call For Paper

## 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／ ICT を活用した教育の質保証

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育の環境は、研究型から実践型へシフトしてきています。そこで本特集号では、これまで本学会では投稿が少なかった医療分野など専門職を育成する実践重視型の教育活動や、ICT 基盤の普及によって可能となった大量の学習活動データの活用や多面的な教育実践評価、さらにそれらに立脚した教育改善プロセスに着目し、「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」と「ICT を活用した教育の質保証」の2つのテーマに焦点を当てた論文を募集します。

### 1. 対象分野

#### A) 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育

医療・看護・福祉分野においては、人そのものを対象とするので、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した e ラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。最近では医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ e ラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。

そこで本特集では、医療・看護・福祉分野において求められている「高い実践能力をもつ人材の育成、専門知識におけるナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、e ラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境の構築、著作権処理」をキーワードにして、この分野における専門職教育に必要な知識や技能の習得を支援する研究・開発・実践に関する論文を募集いたします。

#### B) ICT を活用した教育の質保証

教育現場に ICT が初めて導入されてから何年も経ち、現在では、教育の質保証または向上、教育の実質化、そして学習支援に活用されています。その用途には、大学改革を促進するために、教学マネジメントの強化に関する IR (Institutional Research)、教職員向けの研修 (FD/SD)、図書館や博物館などを含む教育施設や教育機関との連携など組織的な利用があります。また、学習者の主体的な学びを実現するために、e ラーニングや e ポートフォリオなどを用いた教育実践や評価も進められています。

このような背景を踏まえ、本特集では、教育の質保証・実質化に関連する研究を広く募集します。IR、FD/SD、教育連携などと合わせて、システム開発やコンテンツ作成、学習支援の環境や技術、教育実践と評価、カリキュラム設計、インストラクショナルデザイン、学習科学など、教育に関連した幅広い分野からの論文を募集いたします。

### 2. 論文種別

すべての種別の論文（原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報）を募集します。今回は特に、今後、ICT を活用した教育方法の発展が期待される医療・看護・福祉分野における実践および ICT 基盤を活用した教育改善やそれにつながる学習活動データ活用、教育実践評価に関する優れた事例やユニークな取り組みなど、速やかに公表することにより本学会会員の参考となるショートノートや実践速報の積極的な投稿を奨励します。なお、査読結果により、投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります。また、特集号編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱う場合もあります。

### 3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。以下、Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- ・すべての方へ：「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- ・特集研究会（2013年3月16日（土）於；山口大学）で発表を行った方へ：投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

### 4. スケジュール

特集研究会：2013年3月16日（土） 於；山口大学吉田キャンパス 教育学部

※募集は締め切りました。

投稿原稿〆切：2013年4月20日（土）

掲載予定巻号：2014年1月1日発行予定の学会誌（Vol. 31, No. 1）

### 5. 特集号編集委員会

委員長：仲林清（千葉工業大学），副委員長：松居辰則（早稲田大学），小西達裕（静岡大学）

特集幹事：真嶋由貴恵（大阪府立大学：「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」担当幹事），

合田美子（熊本大学：「ICT を活用した教育の質保証」担当幹事），

林雄介（広島大学），小島一晃（早稲田大学），

委員：学会誌編集委員＋特集編集委員（予定）

### 6. 問い合わせ

- ・特集号全般に関する問い合わせ：

特集号編集委員会幹事 林 雄介（広島大学 E-mail: hayashi@le1.hiroshima-u.ac.jp）

- ・Web 投稿に関する問い合わせ：

教育システム情報学会編集事務局（電話：03-5389-6492 E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社 長澤

# 1st Call for Papers

## The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 12

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 12 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information technology (IT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of IT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

*The Journal of Information and Systems in Education* aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

### Scope:

The topics of papers include, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

### Important Date:

The first submission deadline: March 29, 2013

The second submission deadline: May 31, 2013

### Instructions for Authors:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

### Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

[https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal\\_e/applicant/login.html](https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html)

### Publication:

Vol. 12 will be published on the J-STAGE Web site (<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>).

### Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: [jsise-edit@bunken.co.jp](mailto:jsise-edit@bunken.co.jp)

\*\*\*\*\*  
**教育システム情報学会 JSiSE2012 年度 第 5 回研究会 開催報告**  
 \*\*\*\*\*

■ 実施概要

- 担 当：三石 大(東北大学), 佐々木 整(拓殖大学), 妻鳥 貴彦(高知工科大学)
- テーマ：「ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境/一般」
- 開催日：2013 年 1 月 12 日(土)
- 会 場：東北大学(川内南キャンパス文科系総合研究棟)
- 発 表：28 件、参加者：60 名

■ 実施報告

2013 年 1 月 12 日(土) に東北大学川内南キャンパスを会場として、「ネットワークコンピューティングとこれからの教育・学習環境/一般」をテーマに東北大学大学院教育情報学研究部・教育部 10 周年記念研究会との合同で 2012 年度第 5 回研究会を開催しました。60 名の参加者のもと 2 会場に分かれ、計 28 件の研究発表がなされました。

今回の研究会では、スマートフォンやタブレット端末等、現在、急速に普及が進みつつあるモバイル端末の教育現場での活用やそのためのシステム開発、情報技術による語学学習支援、情報技術活用教育の普及に向けた利用者支援、その他情報技術やネットワークを活用した新しい教育手法の開発に関する研究等、様々な研究が報告されるとともに、各研究の発表時には、発表者と聴衆者との間で活発な議論が交わされるなど、大変盛況で、有意義な研究会となりました。

また、仙台での開催ということもあり、宮城教育大学や東北学院大学等、仙台市内の大学から多数ご参加頂いたほか、全国各地の大学、企業からも多数のご参加があり、本学会の活動を外部に PR する効果も多分にあったものと思われまます。

最後に、ご発表を頂いた皆様、熱心なご議論に参加頂いた方々、ならびに合同開催として研究会の運営にご協力頂きました東北大学大学院教育情報学研究部・教育部の皆様、研究会の PR 等々本研究会を支えて頂きましたご関係各位に、この場を借りて御礼申し上げます。

■ JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。  
 この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■ 年間購読料 4,000 円/年6回発行<送料込>

◆◇学会誌・研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、株毎日学術フォーラムまでお申し込みください。1 部1,300 円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp URL : http://maf.mycom.co.jp

■□■□■□■ JSiSE 2012 年度 研究会年間予定表 ■□■□■□■

日 時	テ ィ マ / 会 場	担 当	
第 6 回研究会 2013 年 3 月 16 日 (土)	場 所：山口大学 (吉田キャンパス) テ ィ マ： 教育の情報化と情報教育/一般	松永公廣 西野和典	西端律子 鷹岡 亮
特集論文研究会 2013 年 3 月 16 日 (土)	場 所：山口大学 (吉田キャンパス) テ ィ マ： 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育/ ICT を活用した教育の質保証	小西達裕 林 雄介	真嶋由貴恵 合田美子

## 2013年度 JSiSE 第38回全国大会のご案内

2013年度全国大会の開催日と開催場所が決定しました。

■開催日:2013年9月2日(月)～9月4日(水)

■会場:金沢大学 角間キャンパス

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/index.html>

大会に関する情報は、順次学会 HP に掲載します。

<http://www.jsise.org>

### 注意(例年との違い)

従来その区別がやや曖昧であった企画セッションとワークショップを次の様に規定し、より多様な大会を目指します。

企画セッションは一般セッションと同様の体裁で研究発表と討議を行います。発表者は参加費を支払っていただき、提出いただいた予稿は予稿集に掲載されます。また、一般セッション同様に発表は大会奨励賞審査の対象となります。ただし、一般セッションと違いオーガナイザーの判断でセッション内で全体討論の時間を設けることが可能です。

ワークショップは自由な形式で開催可能な交流の場です。講演会形式、パネルディスカッション形式などオーガナイザーがテーマに即してアレンジすることが可能です。さらに、ワークショップのみの参加者は企業や会員外の方とも連携しやすいように大会参加費が不要となります。なお、ワークショップの資料はオーガナイザーが提出する説明のみが予稿集に掲載されます。また、個々の発表は大会奨励賞の対象になりません。

なお、近日中に、企画セッションおよびワークショップの提案募集を開始します。

# 「学会誌原稿執筆要領」の一部改定について

2012/2

教育システム情報学会 学会誌編集委員会

今回、以下のように学会誌原稿執筆要領を改定することとなりましたのでお知らせします。

## 1) 改定内容 1

投稿論文（原著論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の本文の記述言語を日本語とすることを明示します。以下の下線部の文言を追加します。

### 5. 執筆の要領

(略)

- 5) 本文：投稿論文の本文は日本語で記述する。章・節・項，等の見出しをつけて読み易くし，それぞれ 1 2 3…， a b c…の順に区別する。

## 2) 改定内容 2

カラー印刷に関する別刷価格を明示します。

従来より，全ての採録原稿において，最低 100 部の別刷購入を義務付けており，以下の価格表を投稿規定に掲載していました。

部数 \ ページ数	100 部	200 部	300 部
1~2	18,000 円	36,000 円	54,000 円
3~4	24,000 円	42,000 円	60,000 円
5~6	30,000 円	48,000 円	66,000 円
7~8	36,000 円	54,000 円	72,000 円
9~10	66,000 円	90,000 円	114,000 円
11~12	102,000 円	132,000 円	162,000 円
13~14	174,000 円	204,000 円	234,000 円

今回，新たに以下の，カラー印刷についての価格表を追加しました。カラー印刷の場合は，上記の価格に加えて，カラー印刷 1 ページあたり，以下の表の金額が追加されます。

部数	100 部	200 部	300 部
追加金額	46,500 円	48,000 円	49,500 円

## 3) 改定実施日

新投稿規定の発効は 2013 年 2 月 1 日とします。

以上

## 国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

### 2013年10月開催

#### ◆FIE 2013: 2013 Frontiers in Education Conference

- ・開催期間：October 23-26, 2013
- ・開催地：Oklahoma USA
- ・URL：<http://fie2013.org>
- ・論文投稿スケジュール：  
Abstracts Due: February 1, 2013  
Preliminary Paper Deadline: April 1, 2013

#### ◆AAACE E-Learn 2013—

World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare & Higher Education

- ・開催期間：October 21-25, 2013
- ・開催地：Las Vegas, Nevada, USA
- ・URL：<http://www.aace.org/conf/elearn/>
- ・論文投稿スケジュール：Submissions Deadline: May 24, 2013

#### ◆ICWL 2013 : The 12th International Conference on Web-based Learning

- ・開催期間：October 6-9, 2013
- ・開催地：Kaohsiung, Taiwan
- ・URL：<http://icwl2013.tajen.edu.tw/>
- ・論文投稿スケジュール：  
Abstract submission deadline: April 8, 2013  
Paper submission deadline: April 15, 2013

#### ◆ICEM 2013: The International Council for Education Media

- ・開催期間：October 1-4, 2013
- ・開催地：Singapore, Singapore
- ・URL：<http://icem2013.ntu.edu.sg>
- ・論文投稿スケジュール：Deadline for submission of abstracts: March 31, 2013

### 2013年9月開催

#### ◆KES 2013 :

17th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems

- ・開催期間：September 9-12, 2013
- ・開催地：Kitakyushu, Japan
- ・URL：<http://kes2013.kesinternational.org>
- ・論文投稿スケジュール：Papers (General Sessions): March 1, 2013

2013年 7月開催

- ◆ IADIS International Conference e-learning 2013
  - ・ 開催期間 : July 23-26, 2013
  - ・ 開催地 : Prague, Czech Republic
  - ・ URL : <http://www.elearning-conf.org/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : Submission Deadline: January 28, 2013
  
- ◆ HCI International 2013: 15th International Conference on Human-Computer Interaction
  - ・ 開催期間 : 21 - 26 July 2013
  - ・ 開催地 : Las Vegas, Nevada, USA
  - ・ URL : <http://www.hcii2013.org/>
  - ・ 論文投稿スケジュール :
    - Abstracts for Papers in 800 words: Friday, 12 October 2012
    - Abstracts for Posters in 300 words: Friday, 1 February 2013
  
- ◆ New Technology and User Experience for Next Educational Environment (Organized Session in HCI International 2013)
  - ・ URL : <http://www.stein.cite.tohoku.ac.jp/hcii2013-edu/>
  - ・ 論文投稿スケジュール :
    - Friday, 7 September 2012 with extended abstract of 800 words
  
- ◆ ICALT 2013 : The 13th IEEE International Conference on Advanced Learning Technologies
  - ・ 開催期間 : July 15-18, 2013
  - ・ 開催地 : Beijing, China
  - ・ URL : <http://www.ask4research.info/icalt/2013/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : Full paper, Short paper, Poster: January 18, 2013
  
- ◆ ICCM 2013 : International Cognitive Modeling Conference
  - ・ 開催期間 : July 11-14, 2013
  - ・ 開催地 : Ottawa, Canada
  - ・ URL : <http://www.iccm-conference.org/2013/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : Submissions Due: May 25, 2013 (募集中)
  
- ◆ AIED 2013 : Artificial Intelligence in Education 2013
  - ・ 開催期間 : July 9-13, 2013
  - ・ 開催地 : Memphis, United States
  - ・ URL : <http://aied2013.memphis.edu/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : February 28, 2013 (募集中)
  
- ◆ ICEL2013 : The Fourth International Conference on e-Learning
  - ・ 開催期間 : July 8-10, 2013
  - ・ 開催地 : Czech Republic
  - ・ URL : <http://sdiwc.net/conferences/2013/icel2013/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : Submission Deadline: May 10, 2013 (募集中)
  
- ◆ EDM 2013: The 6th International Conference on Educational Data Mining
  - ・ 開催期間 : July 6-9, 2013
  - ・ 開催地 : Memphis, United States
  - ・ URL : <https://sites.google.com/a/iis.memphis.edu/edm-2013-conference/>
  - ・ 論文投稿スケジュール : Full Papers, Posters: February 22, 2013

# 新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

## ●新入会正会員・準会員

2012/12～2013/1

会員番号	名前	所属機関	所属部署	推薦者	会員種別	
JSiSE-A1203236	西川孝二	北海道自動車短期大学	自動車工業科	三田村保	正会員	
JSiSE-A1203237	岡野英樹	東京高等学校	情報科		正会員	
JSiSE-A1203238	鈴木章令	株式会社 サイバーリンクス	地域ネットワーク事業部		正会員	
JSiSE-A1203239	外山理沙子	慶應義塾大学大学院	政策・メディア研究科		準会員	
JSiSE-A1203240	福丸浩史	九州工業大学	学習教育センター	西野和典	正会員	
JSiSE-A1203241	岸川公紀	中村学園大学	短期大学部		正会員	
					正会員	5
					準会員	1

## 事務局より

### ★☆☆年会費納付のお願い☆☆★

2012年度年会費の納付期限は、2012年9月末とさせていただきます。まだ、ご入金がお済でない会員の皆様は、至急お納めいただきますよう、ご協力をお願いいたします。(期日を過ぎましても、随時受け付けております)

また、2013年度年会費に関しましては、2月末より順次郵送させていただきますので、お手元に届きましたら、請求内容をご確認いただき、2013年9月末までにご入金ください。

前年度以前の未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が3年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただきますこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しく願い致します。

ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

**JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org**

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

### ◎振込先◎

### ◎年会費のご案内◎

■銀行名 : ゆうちょ銀行 支店名 : 019 店  
 ■当座預金 : 0709632 ※00180-6-709632  
 ■口座名義 : 教育システム情報学会

■銀行名 : 池田泉州銀行 支店名 : 上新庄支店  
 ■普通預金 : 13440  
 ■口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修

■正会員 : 7,000 円  
 ■準会員 : 4,000 円  
 ■企業・団体会員 : 50,000 円  
 ■研究報告年間購読 : 4,000 円  
 ■入会金 : 1,000 円 (初年度のみ)

## 新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的に行われる研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

### ■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので（PDFファイル）ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXか、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈させて頂く**というキャンペーンを行っております。そちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

### ■学会事務局宛■

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号

教育システム情報学会事務局 宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email : [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)